

大谷 中学校



あなたが創る われらを拓く

Develop

大谷の校歌に、♪これぞ学び舎ああたのし、♪これぞ友どちああゆかし、♪これぞ古里ああうれし、♪これぞ安らぎああやさし、とあります。大谷に集い合う、その時と場が、《たのし》《ゆかし》《うれし》《やさし》と感受される。このコロナの4年は、あらためてそのことを真正面に据えて、大谷を考えよと私に迫ってきました。困難のなかにあるときこそ、存在していることのもっとも肝要な使命から眼を逸らさずにその有りようを追求していく。このような状況の中であるからこそ、大谷の《ほんとう》が顕れるという思いがありました。

大谷中学校では毎年9月に、1年生から3年生までの各学年4クラス、全12クラスが演劇に取り組みます。そのコンクール発表の三日間、学年が進む一日ごとの時間は、若いいのちの一年という時間の濃密な成長に胸を打たれ、感動に満たされるときです。それとともに、教育を意味する英語educationエデュケーションが、「人間を外へ、引っ張って、伸ばす」からきているということを強く感じる三日間です。それは教員が生徒を引っ張って伸ばすという一方の作用ではなく、生徒が教員を外へ引っ張って伸ばし、さらに生徒同士が引っ張って、育ち合うという、濃密な双方向の運動であるということが、強く胸に迫って感じられる時です。今年の取り組みが十分にエデュケートされたものであったか否かという評価的な視点ではなく、新たな未来を創生する根芽を、《わたし》に、そして《わたしたち》に、生み育てる尊い機会となっているということ、胸に深く刻む時となります。

樹木希林という個性的な役者さんがいました。2018年9月に75歳で亡くなられましたが、その生き様とともに、15年余に及ぶ癌の病軀を受けとめての生活のなかから発せられた、滋味豊かな味わい深い言葉を私たちに多く残してくださいました。その樹木さんから教えてもらったことの一つに、「おもしろがる」ということがあります。面白がるというと、ふざける、茶化す、弄ぶということ連想して、不謹慎なように感じますが、樹木さんの言う「面白がる」ということは決してそういうことではありません。つらさに目を伏せて、何事も見たくないと心を閉ざしてしまう。そのような場に直面したとき、それを「面白がる」。頭を上げて、眼を開き、まるごと真っ直ぐに受けとめる。そのような心の在り方として、面白がるということはある。彼女は自らの病苦という《難》を通して、かけがえのない《人生》に出遇い得たことを、深い謝念を込めて受けとめているのです。私自身、このコロナの中でさまざまなことに臨むとき、その「おもしろがる」ということを胸に置くように心がけてきました。そしてそこに生まれる「遊ぶ」ところをなくさないようにと思ってきました。このような厳しい状況のとき、「遊ぶ」と言えば、その不真面目さを糾されることになるのですが、「ハンドルの遊び」という語が表現しているように、事態の衝撃をダイレクトに受けないで、やわらかく受けとめようとの姿勢です。ものごとに向き合い、取り組み、対応する場合に、その「遊び」の気持ちを持つこと。密着しすぎずに距離を取る。ゆとりをなくすと、深刻になってしまいます。深刻seriousに考えるのではなく、真剣earnestに考える。earnestとは、誠実に、厳粛に、心から考えるということ。眉間にしわ寄せでのことではなく、愁眉を開き、そのことに誠実に向き合い、取り組んでいくことです。しんげんに臨み、謙虚に応じてゆく。そのような《わたし》であり、《われら》でありたいと思います。



飯山 等
学校長

校歌 詞 大木惇夫

- 比叡四明 あけゆく空の
光映え かがよう歴史
これぞ学び舎 ああ たのし
今熊野 大谷 われら
よき世の人となるために
こよなき真理を尊びて
菩提樹の蔭を慕わん
- 加茂川のながれを汲みて
ひたすらに 浄むる心
これぞ友どち ああ ゆかし
今熊野 大谷 われら
よき世の人となるために
互いに敬い 愛しみ
若人の旗をかざさん
- 柳の森 さみどり深く
望みあり 融け合う境
これぞ古里 ああ うれし
今熊野 大谷 われら
よき世の人となるために
務めを果たして 後にこそ
幸の華を享けばや
- 月の輪や 伴う星に
啓します 久遠の理想
これぞ安らぎ ああ やさし
今熊野 大谷 われら
よき世の人となるために
不断に道をし修めつつ
み教えの智慧に添わばや

毎日がさらに充実する 様々なことを経験する

「人と成る～TO BE HUMAN～」を学校の理念に掲げる大谷
中学高等学校では、一人ひとりの生徒が文武ともに充実した学
校生活を送れるよう、先生方がしっかり支援して下さいます。
私は中学の3年間剣道部に所属し、キャプテンも務めました。部
活動を続けることは大変でしたが、担任の先生だけでなく、顧
問の先生方にも学習状況を見ていただくことができ、学習を通
して知識を充実させ、剣道で心身を鍛えていくことに大きなや
りがいを感じました。

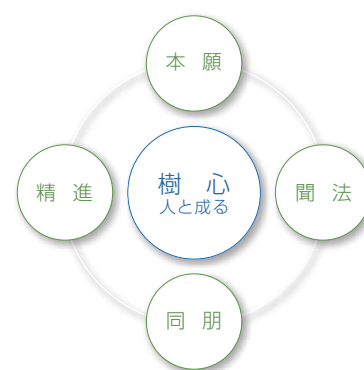
大谷中学で私が大きく成長できる要因となったのが、「礼拝」や
授業の前の「黙想」です。授業の前に黙想することで雑念が取り
払われ、単なる知識のインプットとしてだけでなく、人間とし
て成長できる場として授業に取り組むことができました。小学
校から9年間続けた剣道でも、稽古の前には黙想を行い、心を
リセットします。そういった気持ちの切り替えやメリハリのある
毎日こそが、大谷が私に与えてくれた人間として成長するた
めの術だと感じています。大谷の先生方は黙想の時間をとても大
切にしておられ、気持ちを落ち着け、リセットする術を学ばせて
いただけたことに、本当に感謝しています。

授業以外にも、演劇コンクールをはじめとした、クラスごとに取り
組む行事は積極的に楽しみ、人との関わりや協力することの
大切さを学ぶことができました。メリハリを意識することで、さ
まざまな苦楽を経験することができ、貴重な経験により人生が
より深く豊かになるのだと思います。大谷中学で身をもってメ
リハリのある毎日や黙想の大切さを学べたからこそ、高校生に
なった今も勉強と部活を両立させながら、臨床心理士になると
いう将来の夢に向けて、多くのことを積極的に学んでいます。



バタビア・コアクラス
高3(内部進学)
宮林 龍生
軽音楽部
(中学時 剣道部)

学校理念



樹心 ～人と成る～

TO BE HUMAN

「今、ここ」が安心していられる「時間・空間」となる。
それが「樹心(=心を樹てる)」ということ。

本願 いのちを大切に

「今、生きているわたし」が大切に思えるとき、いのちは
輝き、優しくたくましくなります。

聞法 自分を発見する

だれとも比較しなくてもよい新しい自分を発見すること
で、生きる勇気がわいてきます。

同朋 友と共に歩む

閉じた心を開き、わかり合おうとつとめるとき、友の鼓動
が聞こえ、人の痛みがわかります。

精進 本気でやりとげる

失敗をおそれず、自分をこまかすことなく本気になれば、
世界が変わります。

校訓

真理を尊重せよ 義務を果遂せよ
相互に敬愛せよ 不断に精進せよ

勉強だけでは 充実した日々



京都教育大学 教育学部 教育学専攻
奥田 恭啓
2023年 3月 バタビア・コアクラス卒
(内部進学)

「自立を促す」は大谷の魅力だと思います。受験の際に、どこかの大学を受けるのか、どのような受験方法にするのかを自主的に決めることで、自ら調べる力や決断力が身に付いたと思います。もう一つ、大谷の大きな魅力は、学園祭やOSF(後のO-CAST)など充実した学校行事です。実際に経験するまでは、練習に時間を取られ、練習後は疲れて集中して勉強できないだろうと思っていました。そして、いざ練習が始まると、とても楽しく、受験のことを忘れていました。しかし、それだけではなく、練習が進むと、それまで話したことがない人たちと受験情報を共有することで、受験の不安も軽くなりました。練習後の勉強も、むしろ以前より集中して取り組みました。学園祭の練習が良い息抜きになったからだと思います。また、勉強とは違う何かに全力で取り組むことで、勉強に向かうモチベーションも高くなると実感できました。大谷では学園祭、体育大会に加えて、2年前からOSFやO-CASTも開催されるようになりました。受験を控えていると「忙しい」「面倒」などと思うかもしれませんが、大谷の学校行事は良い息抜きになるし、実際にとても楽しい経験になるはずですよ。みなさんぜひ、全力で取り組んでください。

人間的にも 大きく成長できた



関西大学 システム理工学部 電気電子情報工学科
川勝 悠士朗
2023年 3月 インテグラルコース卒
男子バスケットボール部
(内部進学)
現・大谷中学バスケットボール部学生コーチ

大谷中学では、ほぼ毎朝「朝学習」があります。そのおかげで自宅での学習習慣が身につく、毎日の自宅学習が当たり前になるようになりました。入学してしばらくは、授業のスピードが速く、みんなについていくのに必死でした。それでも、がんばって取り組んだことで、高校では落ち着いて授業を受けることができ、自主的に発展内容まで学習することが習慣になったほどです。特に数学は、中学の時に高校数学に少し触れたことで、高校では得意科目になりました。中学でかなり苦労した古典も、高校では不安なく授業を受けることができました。高校は勉強も部活も楽しく、どちらにも集中して取り組める日々でした。先生方は一人ひとりの生徒と丁寧に向き合い、わからない問題があったときはいつでも丁寧に教えてくださいました。思考力を育ててもらったことで、自分で問題を解き、それを人に解説できるほど理解が深まりました。いろいろな先生に出会えたことで、さまざまな考えを知り、将来の視野が広がったと感じています。自分と向き合う時間も多くあり、自分の未熟なところを知ることで、人間的にも大きく成長できた6年間でした。

部活を通して 貴重な経験ができた



京都大学 工学部 地球工学科
藤居 海誠
2023年 3月 バタビア・マスタークラス卒
剣道部(中学時)
(内部進学)

大谷は先生と生徒の距離が近い学校です。個性的で魅力的な先生がたくさんおられ、少し人見知りするところがある僕でも、授業の後にすすんで質問するなど先生と親しく接することができました。大学受験を控え、成績が伸び悩んでいることを不安に感じた時には、担任の先生が親身になって相談に乗ってくださいました。僕が抱えていた問題に真剣に向き合ってくれた先生には、心から感謝しています。中学時代にはいろいろな学校行事があり、同じクラスの仲間だけでなく違うクラスの人も触れ合える機会でした。特に中学入学後に行われる新入生歓迎会は、友達との距離を縮めてくれる行事です。入学前はどんな人たちと出会うのか不安でしたが、新入生歓迎会に参加してそんな不安も和らぎました。また、演劇コンクールでは、自分の役割に責任を持つことの重要性を実感できました。課外活動では、中学の3年間剣道部に所属していました。稽古が厳しく、なかなか上手にならないと悩んでいた時期もありましたが、先輩や同学年の仲間にアドバイスをもらったおかげで、何とか悔いが残らないように3年間やりきることができました。部活を続けてきたことは、とても貴重な経験になったと思っています。

夢に近づける 貴重な体験があった

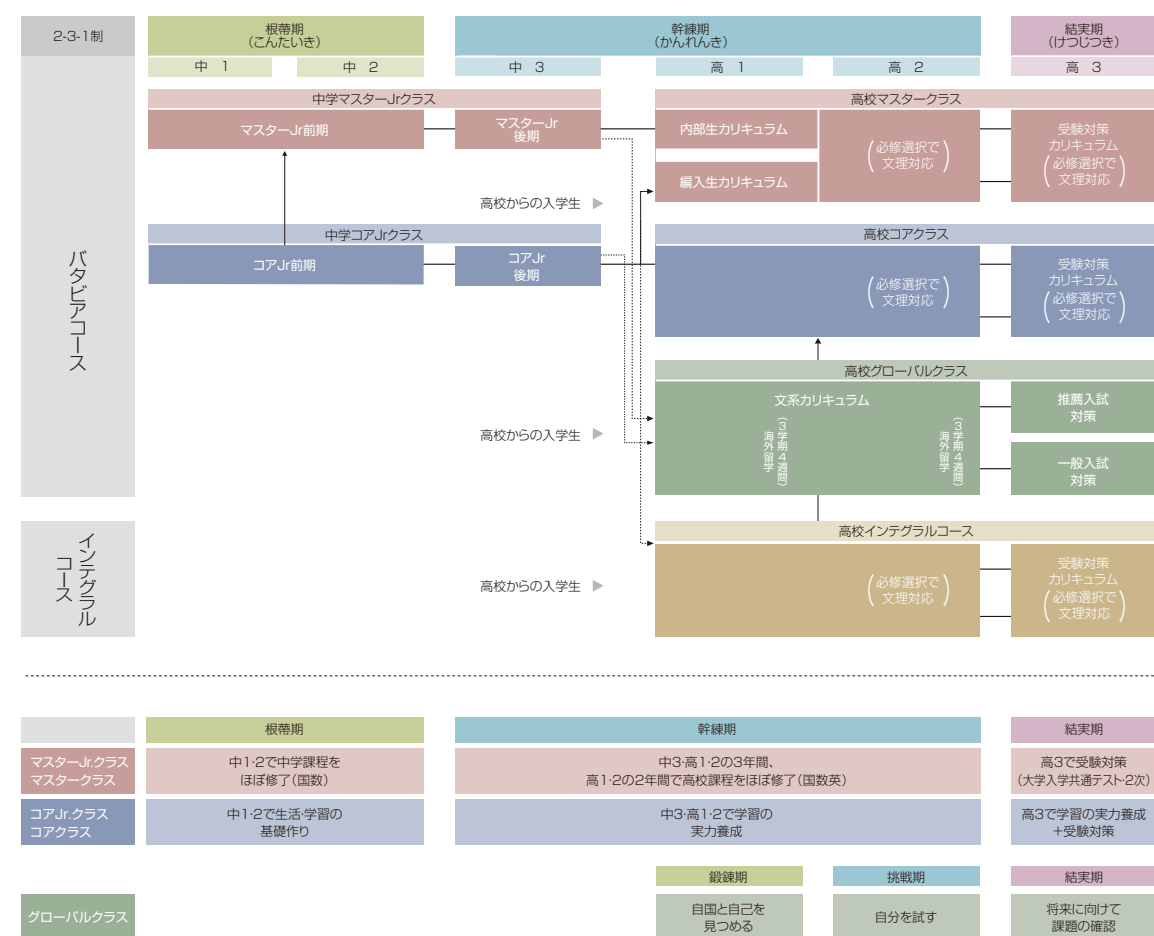


龍谷大学 文学部 仏教学科
榎谷 龍征
2023年 3月 バタビア・グローバルクラス卒
(内部進学)

中学の英語の授業で、みんながわからないところを理解できた時、英語がとても好きになりました。中学の研修旅行の行き先はシンガポールで、ホームステイで自分の語学力がどこまで通用するか楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で海外に行けなくなり、ホームステイも実現できませんでした。海外留学カリキュラムがあるグローバルクラスへの進学を決めたのは、そうした中学での経験があったからです。グローバルクラスでは、ネイティブの先生と話す機会が増え、英語を聞く力や自分に適した形で話す力が鍛えられました。念願の海外留学にも行きました。アメリカに着いて2、3日は、現地の人の会話が聞き取れずにいましたが、1週間も経つと自然に聞き取れるようになり、自分自身もスピードアップして話せるようになりました。英語のほかにも国際的な問題について考える模擬国連などがあり、多くの貴重な経験ができるクラスです。良い友達にも出会え、3年間いろいろな苦楽を共にしたことで、深い絆が生まれたと思います。先生方のサポートのおかげで希望の学部に進学できた今、充実した大学生生活を送っています。



大谷中学校の教育システム



熊谷 心優
バタビア・コアクラス
高3(内部進学)
中高 吹奏楽部

部活での経験は、かけがえない宝物です

小学6年生の時に大谷の吹奏楽部の定期演奏会を見に行き、かっこよくて素敵な演奏に魅了されました。あれから6年が経ち、今では吹奏楽は私の生活の一部です。部のモットー「厳しさの中に楽しさあり」の言葉通り、演奏会やコンクールに向けての練習は厳しいものでしたが、楽しさや成長がたくさんありました。音楽は部員をひとつにし、困難を乗り越える力を与えてくれました。勉強と部活の両立に頭を悩ませることもありましたが、吹奏楽部の仲間たち、指揮者や顧問の先生方、いつもいばん近くいてくれる家族のサポートに助けられました。吹奏楽部で過ごした時間は、学生時代にしか得ることの出来ない宝物です。仲間たちとステージに立つ緊張感が入り混じった時間は、本当に幸せな瞬間でした。音楽で感動を届けることに全力を注いだ吹奏楽部は、私にとって青春そのものです。



松井 優樹
バタビア・コアJr.クラス
中2
科学部

好きなことに、とことん打ち込める環境です

僕は生き物が大好きなので、大谷中学で生き物の観察やフィールドワークを通して、自然環境の勉強をすると同時に、命の大切さについて学びたいと思いました。大谷には科学部があり、生き物に詳しい先生方から指導を受けています。中でも、京都府の天然記念物に指定されているギフチョウの飼育繁殖は、珍しくとても貴重な経験です。昨年は、「京都府私立中高理科研究発表会」で、ギフチョウの研究発表で最優秀賞をいただきました。科学部みんながひとつになって獲得した賞なので、とてもうれしい経験でした。大谷には好きなことをどんどんやらせてもらえる環境があるので、今後も生き物の研究に打ち込んでいきます。また、宗教の授業を通して、命や人と生き物の関わりなどについて考え、単に生き物の勉強をするのではなく、生き物に関する道徳や倫理観も学んでいきたいと思っています。



難関国立大学への進学を目標に、効率の良い学習カリキュラムを組み立て、高校課程の先取り授業を行います。

「マスターJr.クラス(中学)～マスタークラス(高校)」は、難関国立大学への進学を目指します。国語・数学の単位数を増やし、各教科で内容に工夫を加え進度アップを図ることで、中学2年生までに中学課程をほぼ修了します(根拠期)。中学3年から高校2年までの3年間では、高校課程の修得完了とともに、国立大学入試に向けて十分な基礎力を養成するために、日々の取り組み(小テストなど)を充実させていきます(幹練期)。そして最後の高校3年生では演習を中心とし、志望校合格に向けてハイレベルの学習を行います(結実期)。中学段階は、大学入試や人間力の基礎を養うための期間と捉え、高校課程の先取りをしながらも、部活動など特別活動にもしっかりと取り組みながら、バランスの取れた成長を目指します。高校段階では、科目数の多い国立大学への入試に対応したカリキュラムと、ハイレベルかつ量の多い課題をこなしていくことを目指します。ただやられる学習ではなく、自らの興味関心を高め、自分のなすべきことはなにか、ということ意識し、自ら考え学ぶ姿勢を育てます。クラス全員が国立大学(大学入学共通テスト)にむけて努力を続けるので、精神的にも仲間と支え合いながらともに頑張れることも魅力です。

カリキュラム (変更の場合があります)

中学バタバアコース・マスターJr.クラス (1校時50分/土曜日は原則隔週で授業)

※2024年度入学生(予定)

学年	宗教	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語	学部の時間	総合的な学習の時間	LHR
	中1	1	5	4	5	4	1.5	1.5	3	2	6	2	1
中2	1	5	4	6	4	1	1	3	2	6	2	1	以上36単位
中3	1	6	4	6	4	1	1	3	1	6	2	1	以上36単位

高校バタバアコース・マスタークラス (1校時50分/土曜日は原則隔週で授業)

学年	必修必修選択													LHR		
	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	芸術(音楽・美術・書道)	英コミI	論理・表現I		情報I	総合探究(宗教)
高1	3	3	2	2	4	3	2	2	2	1	2	3	3	2	1	以上36単位
高2	3	3	2	4	2	2	1	3	1	2	2	5	4	1	1	以上36単位
高3	3	3	4	3	6	4	3	4	1	1	1	1	1	1	1	以上33単位
全学年バタバアコース	2	2	1													共通探究(数学・英語) 設置予定



富田 唯菜
バタバアマスターJr.クラス
中3
科学部

新しい発見を通して、自分の成長を実感できます

大谷中学校に入学した当初は緊張して、わからないことがあっても先生に聞きに行くことができませんでした。しかし、先生がフレンドリーに接してくださったおかげで緊張がほぐれ、すぐに学校に慣れることができました。今では、わからないことや不安なことはすぐに尋ねられます。また、高校に進学するときに入学試験がありますが、先生と一緒に進学の不安を一つ一つ解消していくことができます。3年生になると毎月大きなテストがあり大変ですが、点数が上がった時は先生も褒めてくださるので、がんばろうという気持ちになれます。ここは雰囲気があたたかく、自分が成長していることを実感できる学校です。これからも大谷で、新しい発見がある毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。





■ 国・数の先取り授業

マスターJr.クラスでは、6年一貫校の特性を活かして、国語・数学の授業時間を標準時間数よりも多くし、先取り学習を取り入れています。中1・2で中学3年間の内容をほぼ終え、中3からは高校の内容を学びます。高2を終えるまでの3年間で高校の内容をほぼ終えるスケジュールです。最初の2年はベースの速さによる不安を解消するため、朝や終礼時の確認テストでカバーしています。また、先取りの分、後半の3年間は少し余裕を持ったベース配分になっています。



■ 学習合宿(中1~中3)

夏期と春期の年2回、2泊3日の学習合宿を行っています。弱点を克服して苦手科目や分野をなくしたい、いっそうのレベルアップを目指したい、という気持ちにしっかりと応えるため、マスターJr.クラスで実施しています。自習が中心で、自らすすんで学ぶ姿勢を身につけることができます。また、仲間と寝食を共にしながら集中的に学ぶことができ、競い合い、協力し合いながら、お互いに高め合える仲間との関係を築くことにもつながります。

■ 大学受験対策の取り組み

① 大学入学共通テストトレーニング

年末の2週間と年始の2週間の計4週間で、予備校・出版社のプリントや先生作成の予想問題などを使って、直前特訓を行います。

② 赤本指導

大学入学共通テスト後、国立大学の受験校が決定するのは1月の下旬。基本的にはそこから約3週間、それぞれの大学の入試問題に詳しい教員が、ほぼマンツーマンで入試問題対策指導を行います。過去問に挑戦し、解説・傾向分析・苦手な単元の特訓のほか、本番の予想問題を2人で研究することもあります。国・数・英が中心ですが、社・理・小論文も要望があれば行います。国・数・英は継続した取り組みなので、大学によっては担当を固定して、校内では、「〇〇大学の数学は△△先生」というふうに着目しています。

③ 模試とその復習を大切にしています

各学期に2回の模試を受験し、どの部分の力が足りていないかを確認し、日々の学習に繋げています。



予備校作成のオリジナル予想問題バック



兒玉 観生
バタバア・マスタークラス
高2(内部進学)
中 サッカー部・生徒会執行部
高 陸上競技部

文武両道を目標に、マスタークラスに入学しました。勉強と部活の両立は難しい時もありましたが、先生方は親身になって勉強を教えてください、部活も顧問の先生の熱心な指導と仲間の協力で乗り越えることができました。大谷中学校は、自分がやりたいことに好きなだけ挑戦でき、それを支えてくれる環境が整っていると思います。入学式の時、僕は校長先生の「言葉のキャッチボールをしよう」という言葉に感銘を受けました。授業前の「黙想」や日常生活で感じたことを話す「感話」など、人間や自分について考える時間も、勉強や部活だけでなく、自分らしさを大切にしながら、人として成長できる学校です。

(時間割例・中学2年)

	月	火	水	木	金	土
	朝学習					
1	社会	理科	国語	体育	英語	理科
2	体育	社会	代数	国語	理科	英語
3	英語	幾何	土曜 1:2	英語	美術	社会
4	国語	代数	土曜 3:4	理科	社会	幾何
5	OC	保健	音楽	宗教	技術	
6	幾何	国語	LHR	代数	家庭	
7		英語			国語	

*土曜日は原則隔週授業です。

クラス
共通必修



【マスターJr.クラスの先生からアドバイス】

マスターJr.クラスでは国語・数学をはじめ学習していく進捗が早い科目があります。当然、普段の学習姿勢や復習する際の工夫が大切になってきますね。また、中学生になったみなさんには家庭学習もしっかりと意識してもらいたいと考えています。そこで具体的なアドバイスを贈ります。まず、授業を集中して受けましょう。そして疑問点をその日のうちに解決していくことです。実際に、マスターJr.クラスの先輩たちは時間の使い方がうまく、メリハリをつけて学習に取り組んでくれています。とくに「耳からの情報」を取り入れることが大切です。おとなになっていくなかで「すべてプリントで、文章にもらって」ということはなくなっていきます。人間は「耳からの情報」がもっとも残りやすいといわれていますが、だからこそメモを取る習慣やノートにまとめる努力をしていきましょう。そうすれば、きっと実りある3年間がみなさんを待っています。勉強も学校行事も全力でいきましょう。



■ マスタークラス(高校)の夏休み

- ① 高1・2のマスタークラスの夏期講習は、通常の授業(国・数・英)を行い、先取りを進めています。
- ② 高3は大学入試を見据えての講習が基本です。
- ③ 高1・2のマスター生は、夏休み期間中に地方国公立大のオープンキャンパスも参加するように勤めています。高1生はその報告レポートを担任に提出します。



共通テストトレーニングの様子

難関私立大学・国公立大学進学のため、手厚いサポートで苦手克服し、一人ひとりの進路に向けた学習を進めます。

「コアJr.クラス(中学)～コアクラス(高校)」は、難関私立大学・国公立大学進学を目指します。中1・2年では、基礎力を養うとともに日常の勉強習慣を養うために、バタバアシステムを取り入れています(根幹期)。バタバアシステムや担任指導、また朝学習などのサポートで取りこぼしをなくし、部活動にも積極的に参加しつつ勉強との両立を目指します。中学3年・高校1・2年では、得意科目を伸ばし苦手科目を克服することを目標に掲げ、高校では古典・数学・英語において習熟度別授業を採用しています(幹練期)。高校3年では受験に必要な科目の演習を中心に、それぞれの志望校に向けた効率的な学習を行います(結実期)。コース名となっているバタバアシステムは、中学1・2年の国数英の授業に週一回担任と一緒に入り、見守られている安心感と担任との信頼関係を構築します。担任は授業進度を把握し、週2時間の復習の時間を持ちます。こうした復習サイクルによって、家庭での学習習慣を確立し、基礎力の取りこぼしを防ぎます。高校入試では他の受験生とともに大谷高校の入試にチャレンジします。中だるみを防ぎ、一つの目標点として意識していきます。高校1年では朝学習などを通じ、受験に向けた勉強量をこなすための家庭学習・学習習慣の定着を図り、2年時には進路をふまえた科目選択によって得意科目を伸ばし学習を進めます。くわえて、国公立大学への進学にも対応したカリキュラムにもなっています。部活動も続けながら、一般受験を目指す生徒も多く、ハイレベルでの両立が図れるのもコアクラスの魅力です。

カリキュラム (変更場合があります)

中学バタバアコース・コアJr.クラス (1校時50分/土曜日は原則隔週で授業)

(1校時50分/土曜日は原則隔週で授業) ※2024年度入学生(予定)

学年	宗教	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語	学習の時間	総合的な学習の時間	LHR
	中1	1	4	4	5	4	1.5	1.5	3	2	5	2	1
中2	1	4	4	5	4	1	1	3	2	6	2	1	(以上34単位)
中3	1	5	4	5	4	1	1	3	1	6	2	1	(以上34単位)

高校バタバアコース・コアクラス (1校時50分/土曜日は原則隔週で授業)

学年	必修・必修選択													自由選択				
	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	芸術(音楽・美術)	英語Ⅰ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	総合探究(宗教)	LHR	ハンズル	自由選択
高1	3	3	2	2	3	3	2	2	2	1	2	3	2	2	1	1	1	(以上34単位)
高2	3	3	2	4	2	2	1	3	1	2	2	2 or 5	2	2	4	1	1	(以上33単位または36単位)
高3	3	3	4	2	5	4	3	2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	(以上32単位)
全学年共通	2	2	1															



上田 さくら
バタバア・コアJr.クラス
中1

友達と一緒に、毎日をもっと楽しく

大谷中学校に入学してすぐの頃は、知らない人ばかりで仲良くできるのか心配でした。初めて学ぶ授業もあって不安もありました。それでも、毎日学校で過ごしているとすぐに友達ができました。入学直後にあった「新入生宿泊」では、先生方が楽しいゲームなどをたくさん用意してくださり、友達との仲を深めることができる楽しい3日間でした。今では毎日がとても充実していて、大谷に入塾して本当に良かったと思っています。テストもあって勉強は大変ですが、友達と一緒にならとても楽しく取り組みます。先生方も、とてもわかりやすく教えてくださいます。いろいろな学校行事もあるので、今からとても楽しみです。これからも友達と仲良く学校生活を送り、1日1日を楽しみたいと思います。





■ バタビアシステム(バタ担)

コアJr.クラスでは、国語・数学・英語の3教科の授業に担任が参加する「バタ担」と呼ばれる制度があります。チューターとして生徒たちの学びをサポートすることを通して、一人ひとりの学習状況を把握するだけでなく、生徒のつまずきや早い段階から気づき、声掛けすることができます。担任は、バタ担でつかんだ生徒たちの実情をもとに、各教科担当と相談しながら、苦手としている教科の確認テストや補習の計画を行います。

■ バタビアシステム「担任指導(担指)」

コアJr.クラスでは、毎週火曜日と金曜日の1限目に担任指導(担指)の時間を設定しています。この時間は担任の裁量で国語・数学・英語を中心に学習します。

各科目の復習小テストなどを実施し、生徒個々の学習進度や理解度を確認しています。担任は目標を達成できなかった生徒のために各教科担当と相談しながら、再テストを実施したり、補習を計画したりします。生徒のみならず再テストや補習を受ける場合は、その日の部活動に参加することはできません。こうして生徒一人ひとりが目標を達成できるまで担任と教科担当が連携して学習の支援をします。生徒のみならず担任の「担指」は、「担指に落ちたら、部活の練習に行けないかも」というちょっとした(生徒にとっては重大な)プレッシャーになっているかもしれません。しかし、担指には「明日の担指、合格しよう」という思いを持って家庭学習してほしいという教員の願いがあります。最初は「やらされている学習」かもしれませんが、担指の「合格」を続けていくうちに、「明日は担指だから勉強しよう」に変わり、さらには「今日の復習をしよう」と毎日の家庭学習を習慣化することが担指のねらいです。



■ マスタークラスへの編入

中1から中2、高1から高2へのそれぞれ進級時に、編入試験を受けてマスタークラス生となる機会があります。中高6年間のうち2回(高校進学時の入試を入れると3回)あります。学習意欲が高まるタイミングには個人差があるので、多くの機会を設けています。その中でも、中1から中2への進級時では、中学入試で果たせなかった目標達成を目指し、編入試験にチャレンジする生徒もいます。

■ コアクラス(高校)の特長

①さまざまな大学への受験が可能

コアクラスでは、「難関私立大学受験」をメインに普段の授業を展開していますが、7限目・8限目にある自由選択講座を受講することによって「国公立大学受験」も可能です。また、夏期・冬期講習の一部でマスタークラスとの合同の講座もあり、お互いが刺激あって受験に臨んでいます。

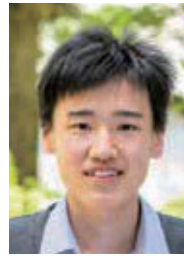
②クラブにも全力で取り組みます

クラブ活動は3年間を通して全力で取り組みます。多くの生徒たちは夏季大会で引退を迎え、その後本格的な受験勉強へとシフトチェンジします。また、サッカーやバスケットボールなど、冬季の大会まで出場可能なクラブもあり、最後までやり抜く生徒もいます。部活動と両立しながら難関私立大学や国公立大学へチャレンジできるだけの講座を設けています。



③指定校推薦・協定校推薦取得可能

一般入試で受験する生徒が多いのですが、指定校推薦を利用して進学する生徒もいます(バタビアコース限定の指定校推薦もあります)。また、立命館大学等の協定校推薦を利用して進学する生徒もいます。



今川 大彰
バタビア・コアクラス
高1(内部進学)
中高 放送部・生徒会執行部

入学したときは、誰を頼りにして学校生活を送ったらいいのかかわからない状況でした。そんな時に友達から「生徒会に入らない?」と声をかけられました。その時に思ったことは「無理」でした。でもこの考えは間違っていました。生徒会執行部に入ると、先輩たちとの交流が増えて、とても楽しく活動できました。さらに後輩たちもできて、たくさん会話できたことが嬉しかったです。これを機に、人と話すことが苦手だった僕が、今では話すことが当たり前になりました。コミュニケーションをうまく取れるようになったのは、生徒会での活動のおかげです。大谷中学校に入学してよかったです!引き続き高校でも、生徒会執行部で頑張っていきたいと思います。

(時間割例・中学2年)

	月	火	水	木	金	土
	朝学習					
1	理科	担任指導	音楽 or 美術	数学	担任指導	数学
2	技術	理科	音楽 or 美術	体育	英語	社会
3	家庭	国語	土曜 12:30-4:00	国語	数学	国語
4	社会	体育	土曜 12:30-4:00	理科	保健	英語
5	国語	数学	理科	英語	数学	
6	英語	英語	LHR	宗教	音楽	
7		社会				社会

※土曜日は原則隔週授業です。

クラス 共通必修 バタ担 授業

【コアJr.クラスの先生からのアドバイス】

大谷中学高等学校の6年間を過ごすにあたり、最初の2年間(根時期)で、基本的な生活習慣と学習習慣の定着を身につけましょう。もともと身につけている方は、より高いレベルでの習慣づけを意識していけば、心身ともに健やかに過ごせます。そのためにもぜひ、コアJr.クラスの取り組みを積極的に行うと良いかと思います。たとえば朝礼時には朝読書をしています。毎回、自分の読みたい本を選び、その時間に集中して読むことで良いルーティーンが生まれます。週2回の担任指導(担指)では国語・数学・英語のテストを行います。この担指に向けて、逆算をして予定を立てることは日々の学習習慣の構築に大きなプラスとなります。そのように「自分ごと」として朝読書や担指など向き合っていきましょう。それができれば「早めに寝ないといけない」と考えたり、「今日は帰ってからすぐにテスト範囲の勉強をしておくぞ」と決めたりできるようになります。それは結果として生活習慣の向上にもつながっていきます。こういう意識を一人ひとり持つことにより、クラスメイトでテスト範囲を確認したり、分からないところを教え合ったりといった連帯感も高まっていきます。このように、みんなで「できた!」「やった!」を増やしていきましょう。





学習サポート

バタバシステム(バタバ担)

根拠期に担任が国数英の授業に入り、生徒目線で授業と一緒に受け、サポートします。

学習計画表・振り返り表作り

定期テストごとに、学習計画と振り返り表を作成し、次回に活かす取り組みです。

駿台サテネット21

インターネット配信方式により、パソコンやタブレット・スマホでの学習が可能。学校の自習室の他、自宅でも可能。

GTEC

(株)ベネッセによる英語検定テストを定期的に受けます。

実力テスト

中2で2回、中3で4回、高2で1回、高3で2回、コース・クラスの枠をこえた共通テストを実施します。

模擬試験

全統模試・ベネッセ駿台・ベネッセ進研・小論文など、様々な業者模試を実施します。

Englishキャンプ

中2の6月頃に滋賀県高島市にて2泊3日で行います。ネイティブのインストラクターと一緒に様々なアクティビティを通して、英語を話す楽しさを体験します。

確認テスト

朝礼終礼の時間を使って、コアJrは担当(週2時間枠・P15参照)の時間も使って実施します。

夏期・冬期講習

授業延長もあれば、演習授業や補習的な授業など、様々な形式で実施します(高校は春期講習もあります)。

編入試験

中1(コアJr→マスターJr) 高1(コア→マスター、インター→コア)においてチャレンジできます。

各種検定

英検・数検・漢検・ニュース時事能力検定を校内で受検することができます。

学力推移調査

年3回実施。学習の定着度合いから、学習環境や状況についても調査します。

大学入学共通テスト対策と私大対策講座・国立大2次対策講座

大学入学共通テスト直前の約20日間、共通テスト後は、それぞれの対策講座を最大3週間実施します。

Plus Otani

個別最適化ソフト「atama+」とトレーナー・教員が連携して生徒を見守る放課後学習システムで、生徒一人一人に合わせた学習支援を行います。

朝読書

コアJrでは朝学習の15分の時間を使って週3日のペースで実施します。

AIゼミ

受験指導専門の外部講師による講義です。本校の授業と運動しています。

オンライン英会話

タブレットを使ってフィリピンの先生と25分間の英会話をを行います。毎回予習をしてからレッスンに臨みます。

長期休暇明け宿題確認テスト到達度テスト

中学は中1の夏・冬、高校は高1の夏・冬、高2の夏に実施します。

スタディーサポート

高校では、スタディーサポートという業者テストで学習状況と学力伸長をチェックします。

学習合宿

夏期と春期に2泊3日、3日で15時間以上の学習に取り組みます。勉強に対する前向きさが養われます。(マスターJrのみ実施)

ENAGEED(エナジード)

総合学習の時間にキャリア教育のサポートコンテンツとして導入し、自分の将来について自ら考える力を養います。



保護者との連携

授業参観・保護者面談・保護者アンケート

年2回の授業参観、年1回の保護者アンケート、また保護者面談など、学校とご家庭との連携を密にしています。

懇談会

学級懇談会、縦割り懇談会(中学)、地域懇談会(高校)など保護者の方々と情報共有する機会を設けています。

BLEND・Google Classroomなど

学校発信の連絡ツールとしてBLENDを導入し、在校生は登録していただきます。またGoogle Classroomも活用し、課題などを配信します。

マスターJr.クラス・コアJr.クラスとも高校進学時に、グローバルクラス・インテグラルコースを選択することもできます。

高校バタビアコース・グローバルクラス Global Class

国際的な場において活躍するための基礎づくりをめざす

国際的な場において活躍する基礎を築くための、特色ある学びを行っています。バタビアの基礎学力定着はもちろんのこと、模擬国連活動を大きな柱として、自国だけではなく、地球規模で考える力を身に付けていくことを目指します。また3年間で2回あるアメリカ留学によって、語学力だけではなく、自らの手で様々な困難を切り開く力や、発信力を養っていきます。こうした経験を生かして一般入試はもちろんのこと、総合型選抜の入試での国内進学、また海外の大学への進学も視野に入れていきます。

■ 日本文化を学ぶ

「日本文化」の授業では、祇園祭についても学びます。祇園祭について、グローバルクラスでは、クラス立ち上げ当初から、2022年の山鉾巡行で復帰された高山保存会の方々とともに学びを深めてきました。日本を代表する祇園祭を通して日本の文化について学び、いつでも世界へ発信できる準備をグローバルクラスではすすめています。



■ 模擬国連大会に参加する

「模擬国連」とは、実際の国連での会議と同じように、特定のテーマについて、個人もしくはグループで一国の大使となり、決議案の採択を目標として議論を重ねる学生の活動のことです。その国の抱える様々な事情を知り、その立場で自国の利益と世界平和を考えることは、グローバルな視野を養うのに最適な活動です。また、相手を尊重しながらも自国のためになる政策を採択するために各国と交渉する過程は、物事を達成するためのコミュニケーション能力を向上することにもなります。本校においてはグローバルクラスが設置される5年前から、グローバルスタディーズというクラブでの取り組みとして始まっています。関西大会だけでなく、全国大会にも出場しています。



高校インテグラルコース Integral Course

現役での大学進学をめざす

現役進学率約97%の進学コースです。クラブの加入率も高く、学業とクラブ活動をはじめとする課外活動との両立を目指します。基礎学力の向上、学習習慣の確立を大切に、時間を有効に使って学ぶ姿勢を養います。課外活動などを通してさまざまな経験を重ねながら、約80%以上の生徒が四年制大学に進学します。以前から指定校推薦・協定校推薦を利用した進学が多く50%を超えています。最近では、一般入試や公募制推薦入試などで進学する生徒も増えており、国公立大学に進学する生徒もいます。

中学校の英語 5ラウンドシステム

本校では「自分の言葉で英語を楽しんで使える人」の育成に向け、「5ラウンドシステム」を導入しています。5ラウンドシステムとは、1冊の教科書を1年間に5回繰り返し学習する方法です。ラウンド1では英語を聞いてイラストを並べ替え(内容理解)、ラウンド2では音声と文字を一致させます(音文字の一致)。続くラウンド3では本文を音読し(音読)、ラウンド4では本文の穴埋めをしながら音読(穴めき音読)。ラウンド5では自分の言葉でストーリーを語ること(Retelling)を目指します。何回も繰り返すことで英語を英語で理解し、使う力を身に付けることができます。現在、日本語は話さずほぼ英語のみで授業を進めていますが、生徒たちは英語に対して抵抗感がなく、楽しく授業を受けて、英語を積極的に使っています。



毎回の授業は先生との日常的なやり取りから始まります。この何気ないやり取りの中からもさまざまな表現を身につけていきます。ラウンド5では本文のイラストだけを見ながら、自分の言葉でもう一度ストーリーを語っていきます。



中学校の総合学習 次世代キャリア教育ENAGEED(エナジード)

本校では総合学習の時間に、キャリア教育のサポートコンテンツであるエナジードを取り入れました。エナジードとは、子どもたちが、どんな人物になりたいのか、どのように生きてゆくのかなど、自分の将来について自ら考える力をつける教材です。

エナジードでの学習事例(エナジード社HPより)

- 正解のない問いへ挑戦する。
- 自分の考え・感情を表現する。
- 生き方・進路を考え抜く。



[学びをささえる]

◎大谷の自学自習

「人工知能がどれほど優れていても、大切なのは「人」。大谷はICTとよりよく付き合いながらも、人と人とのつながりを大切にしています。自習室でも、相談や質問は気軽に訪ねてもらえたらと考えています。

- ・図書館内に自習室を設けております。
- ・土日祝も9時から17時まで開いています。
- ・図書館内の自習室には「学習支援コーディネーター」と呼ばれる先生が常駐しています。自習室の管理はもちろん、勉強に関する相談や質問を受けつけています。
- ・図書館以外にも自習スペースがあり、先生に教えてもらいながら学習することができます。



(株)ベネッセの学力推移調査とスタディーサポート

中学3年間では学力推移調査(学推)を、高校3年間ではスタディーサポート(スタサポ)を導入しています。中高6年間の推移を知ることができるのはもちろん、毎回、科目ごとの成績や単元別の評価を本人と担任が確認し、自身の苦手克服や得意科目のさらなる成績向上につなげます。学推もスタサポもそれ自体で高得点を取る事が目標ではありません。大切なのは返却された答案を見直し、自分の得意不得意を把握すること、どのような学習方法にしていくかを考え、実践することです。答案返却の際には学習方法のアドバイスもあり、学習計画に役立ちます。



ICT環境整備

すべてのHR教室にスクリーンの投影できる黒板とプロジェクタを導入しています。またクロームブックを生徒全員に購入してもらい、授業や普段の学習にも活用できるようにしています。多くの中学校でも導入されているロイロノートについても使用しており、発表やノートの整理もより良い使い方をしてもらっています。調べ学習で使うものでは日本国語大辞典をはじめ、英和辞典・古語辞典を含む複数の辞書機能を持った「ジャパンナレッジスクール」を採用しております。さらに、学校全体で導入しているのが珍しいところでは、「Canva(キャンバ)」があります(下のトピックもご覧ください)。非常に多くのテンプレートがあったり、スマートフォンで撮った動画を編集してプレゼンテーションに使ったりすることもできるので、今後ますます多様化するであろう大学入試にも役立つものといえます。

普段の授業や保護者連絡で使っているおもなもの

- ・BLEND
- ・Google classroom
- ・ロイロノート
- ・ジャパンナレッジスクール
- ・Weblio study
- ・Canva(キャンバ)



Canva(キャンバ)

すべての人がデザインを自由に楽しめることができるキャンバ。Canva教育版では1億点を超える素材や何千ものテンプレートの使用、Google classroomとの連携が可能です。

- ◎大谷での活用事例
 - ・共同制作による英字新聞
 - ・部活動のPRをするポスター
 - ・各種動画作成(模擬国連等)





to be human

大谷中学校の演劇コンクール

演劇コンクールは年に1度、3日間に渡って実施される一大イベントです。では、いったいどのようにして行われるのか、その一例をご紹介します。

多くのクラスはまず、1学期のあいだに、どのような演目をするのか、個々の役割は何か、といったことを決めはじめます。そして、放課後や休日にも利用しながら台本を書きあげたり、効果音を編集したり、大道具・小道具を作りあげたりしていきます。このときは裏方も演者も関係ありません。クラスメイト丸となって協力していきます。台本が完成したらいよいよ演者がセリフを暗記していきます。8月末になると、演技の練習も本格化。協定校の関係にある大学の先生から演劇の指導があったり、担任の先生の熱量も上がってきたり、ときには教科担当の先生方もアドバイスをしてくれたりします。9月にはついに本番を迎えます。とくに最後の1週間あたりは各クラスともヒートアップ。完全下校時間まで残って準備をしている生徒も少なくありません。

そんなこんなで緊張と期待とで迎える本番は、本人たちにとってはあっという間です。自分たちの出番を終えたら、それまでのことが思いかえされて涙が出てしまう生徒も（そして先生の中にも）。

濃密な3日間のフィナーレは結果発表です。最優秀賞に選ばれたクラス、惜しくも届かなかったクラスなど、悲喜こもごも表彰式は大切な思い出に変わっていきます。そして、たくさんの拍手はすべての大谷中学生に贈られます。



演劇コンクールはクラスが一致団結して取りこむ大きなイベントです。僕たちは中1のときから最優秀賞を狙っていました。1年生では惜しくも3年生に負けてしまいましたが、あと一歩で最優秀に手が届くところまではいきました。そして、最後の演劇コンクールでついに栄冠を手にすることができました。本番までのあいだ、僕たちだけではなく、先生も気合十分で、熱心に演劇指導をしてくださいました。時には一緒に泣いたり笑ったりしていただき、先生とクラスみんなで完成させていく楽しさと充実感を味わうことができました。

林 勇迅 インテグラルコース 高1 硬式野球部(内部進学)



過去の作品例

【ダブリンの鐘つきカビ人間】

【命どう宝】

【青空のむこう】

【桃太郎とシンデレラストーリー】

※生徒がゼロから台本を手掛けたものも多数あります。





(活動日数/部員総数:3年・2年・1年)



バスケットボール部
(週5日/32・12・15・5)
中学からの初心者でも大丈夫です。みんなでのびのび楽しみながら「できる」を増やしていきます。



バドミントン部
(週4~6日/43・9・14・20)
バドミントン部では返事、挨拶、後片づけを重視し、「一戦必勝」を目標に日々の練習に励んでいます。



マルチメディア部
(週1~2日/12・5・3・4)
パソコンを使って、プログラムや動画作成をしています。週2回の活動で勉強との両立ができます。



競技かるた部
(週2日/10・3・4・3)
創部2年目ですが、有段者もいます。練習を通して、かるたの技術だけでなく、マナーや礼儀作法も身に付けられます。



ホッケー部
(週5日/17・7・4・6)
ホッケーはスピードと知的なプレイが必要な奥深いスポーツです。全国大会出場を目指します。



サッカー部
(週5日/18・2・5・11)
日々の練習を通して、技術向上だけでなく、仲間との信頼関係を築くことのできるクラブです。



放送部
(週1~2日/7・2・4・1)
放送部は部員同士の仲が良いクラブです。他クラブと協力しながらPVなどの制作活動をしています。



科学部
(週1日/29・11・11・7)
「楽しそう」と思われがちですが、普段の授業とは違う「科学」を楽しむクラブです。



剣道部
(週4日/6・4・0・2)
剣道部では高校生の先輩と一緒に稽古ができます。稽古を通して心も鍛えられ、充実感を味わえます。



野球部
(週5日/27・13・7・7)
経験者はもちろんのこと初心者でもキャッチボールから野球を教えてもらえます。元気で仲の良いクラブです。

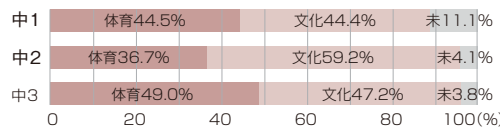


吹奏楽部
(週4日/20・2・4・14)
吹奏楽部ならではの、音楽を通して部員が一つになる一体感や緊張感を体験してみませんか。

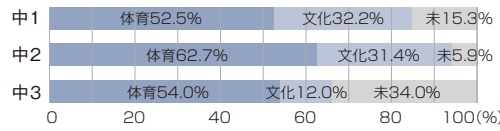


生徒会執行部
(週1日/19・7・10・2)
毎週月曜日の「あいさつ運動」などの定期的な取り組みの他、新入生歓迎会、3年生を送る会、全校集会などそれぞれの時期に合わせた企画を主催しています。

▼マスターJr.クラス



▼コアJr.クラス



【高校クラブ一覧】

硬式野球部/サッカー部/男子バレーボール部/男子バスケットボール部/女子ハンドボール部/陸上競技部/ホッケー部/女子バレーボール部/剣道部/柔道部/スキー部/硬式テニス部/水球部/女子バスケットボール部/卓球部/バドミントン部/吹奏楽部/科学部/文芸部/マルチメディア部/軽音楽部/美術部/写真部/歴史研究部/茶道部/GSI部/尊道部/韓国言語文化部/コーラス部/競技かるた部/放送部/模型部/数学同好会/演劇同好会/ハレジャ部/生徒会執行部

高校のクラブ顧問の先生と中学部の先生たちが話し合ってお互いOKが出れば、中学生が高校のクラブに入部して活動している場合があります。

【これまでの事例】 柔道部 テニス部 スキー部 女子バレーボール部 陸上部 水球部 美術部 模型部 コーラス部 文芸部 数学部 など

*必ず「入部できる」、「大会に参加できる」という制度ではありません。入学前にご確認ください。

中3・3学期
6泊7日
実施予定

グローバルな人間を育むこと、それがシンガポール研修旅行のテーマ。



「とにかく、楽しかった！」これが中学3年生の感想です。引率した先生たちも同じような感想になった研修旅行でした。「とにかく、楽しかった！」には、やっと実現できたという思いと、何事もなく無事に行って来られたという思いが詰まっています。3年前、さあこれから中学生も海外での研修旅行だ、というときに世界中がコロナ禍になってしまいました。中止や国内への変更が続いていたシンガポール研修旅行が2022年度にようやく

実現しました。現地では、定番のマーライオン公園にはじまり、ナイトサファリ体験、シンガポール国立大学の大学生との交流、そして、ユニバーサルスタジオシンガポールでの自由行動や市内でのショッピングなど、楽しい思い出ができました。みなさんが行かれるときには、さらにグレードアップした内容で研修できると思います。楽しみにしててください。

シンガポール研修旅行の行程表

※行程、宿泊先等は変更する場合があります。

1日目	出発・夜景観賞 学校出発→チャンギ国際空港→夕食後、夜景観賞→ チェックイン/オアシス・リゾート・センターサ泊
2日目	シンガポール市内見学 ・シンガポールシティギャラリー・ラッフルズ上陸地点～マーライオン公園・ マリーナバレー・ガーデンバイザベイ(クラウドフォレスト・フラワードーム)～マリーナベイサンズ・スカイパークなど
3日目	交流プログラム・アトラクション体験 NUS内にて昼食(お弁当)をばさんで現地大学生との交流プログラム(キャンパスツアー、プレゼンテーション発表など)→ チャンギ・エクスベリエンススタジオにてアトラクション体験→自由行動(各自夕食)
4日目	マレーシア研修 マレーシア・ジョホールバルにて学校交流および市内観光(昼食・夕食ともレストラン)
5日目	シンガポール島内研修(モノレール・MRTを利用して班別研修) ・チャイナタウン・リトルインディア・アラブストリートなど(昼食・夕食ともレストラン)散策
6日目	USS・動物園見学 ユニバーサルスタジオシンガポール自由見学(各自昼食)→ナイトサファリ着・動物園内のレストランで夕食後、見学→ チャンギ国際空港へ/機中泊
7日目	空港から貸切バスにて学校へ

2023年度の行事予定です

- 4月
 - 入学式 ●本山参拝 ●新入生合宿(中1) ●遠足(中2・3)
 - 新入生歓迎会 ●自転車安全利用講習 ●スポーツテスト
 - 人権学習 ●女子対象痴漢対策講習会
 - 学力推移調査(春) ●制服着こなしセミナー

- 5月
 - 花まつり ●中間テスト
 - 授業参観(学級懇談会・保護者総会)
 - 今熊野セミナー(年間5回)

- 6月
 - 私学フェア ●実力テスト(中3)
 - 保護者縦割り懇談会 ●漢字検定
 - O-CAST ●English CAMP(中2)

- 7月
 - 期末テスト ●全校集会 ●GTCC(中3)
 - 性教育講演会(中3) ●授業アンケート
 - 夏期講習 ●オープンキャンパスI

- 8月
 - 宿題確認テスト(中1) ●実力テスト(中2・3)
 - オープンキャンパスII ●学習合宿(マスターJr)

- 9月
 - 演劇コンクール ●体育大会
 - 芸術鑑賞
 - 学力推移調査(秋)

- 10月
 - 創立記念日 ●中間テスト
 - 内部進学説明会(中3)
 - 人権学習

- 11月
 - 報恩講(本山参拝)
 - 教育講演会(授業参観・学級懇談会)
 - 実力テスト(中3)

- 12月
 - 成道会 ●期末テスト
 - 性教育講演会(中1・2) ●薬物乱用防止教室
 - GTCC(中・全学年) ●冬期講習(中3)

- 1月
 - 修正会 ●宿題確認テスト(中1)
 - 実力テスト(中2・3)
 - 学力推移調査(冬) ●中学入試
 - 編入試験 ●人権学習(映画)

- 2月
 - 涅槃会
 - 高校入試(中3受験)
 - 学年末テスト(中3)

- 3月
 - 学年末テスト(中1・2) ●全校集会
 - シンガポール研修旅行(中3) ●卒業式
 - 春期講習(中1・2) ●学習合宿(中1・2マスターJr)



【演劇コンクール】P.23・24へGO!



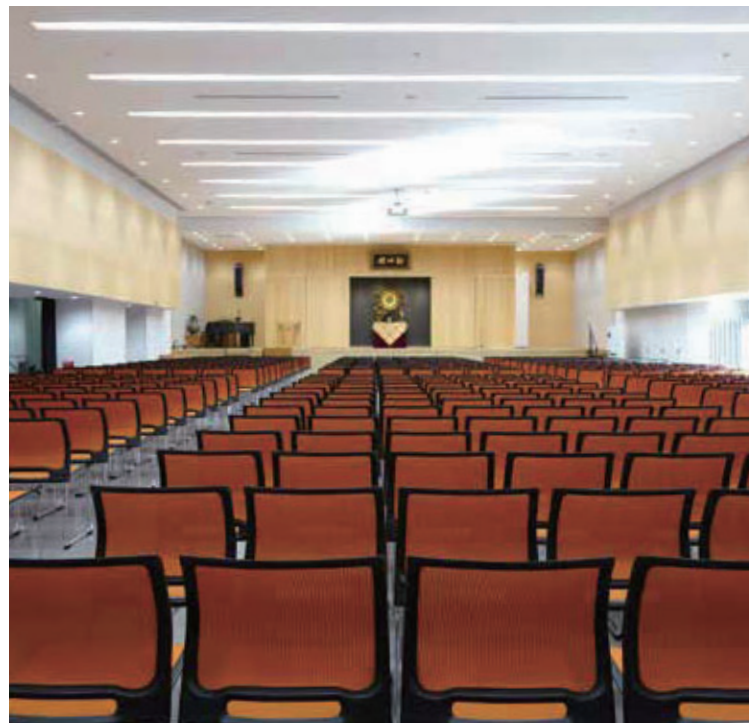
【O-CAST】中学生徒会発案・企画イベントです。中学生とも同じチームになって様々な競技を行います。



【体育大会】色別対抗で、学年をこえて様々な種目に取り組みます。先輩も後輩も先生も全力です。



【本山参拝】始業式後に本山である東本願寺にお参りします。厳かな雰囲気です。



樹心閣(講堂)

ご本尊を前に、心を落ち着け自分を見つめる時間を大切にできる場所です。奥行きのある空間ですが、両サイドがガラス張り、開放感があります。200インチスクリーンを配した視聴覚設備を完備し、多様で本格的な学校行事が可能です。



メイングラウンド

サッカー、ホッケーをはじめ多目的用途に適した人工芝を採用しました。周囲には高さ13mのネットフェンス、南北6ヵ所にスプリングラーを設置しています。9基のLED照明により夜間練習も可能です。



アリーナ

効果的に配置された窓から射こむ柔らかな光に包まれた空間は、様々な公式競技に対応できる水準を備えています。夏も冬も競技に集中できる理想的な環境です。入学式、卒業式では1600脚の椅子が並び思い出に残る式典をおこないます。



テニスコート

オムニコートが二面あります。奥にはフットサルなどができる人工芝のサブグラウンドもあります。



ニコマル広場

大谷にある中央の広場です。お昼ご飯を食べたり、部活動をしたり、高校学園祭のメインステージになったりします。



2F走路

いつでもランニング可能な1周約180mの室内周回走路。アリーナが一望できる観戦スペースとしても利用できます。



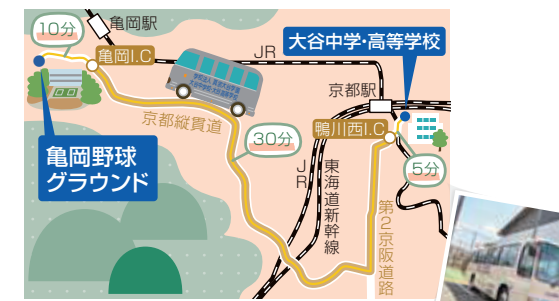
トレーニングルーム

東側の楠を臨む窓を配した明るい空間。多数のトレーニングマシンをそろえ、鍛錬に励むことができます。



柔道場

全日本柔道連盟公認の柔道場で作られた柔道場。シンブルなデザインなので、利用しやすい環境です。



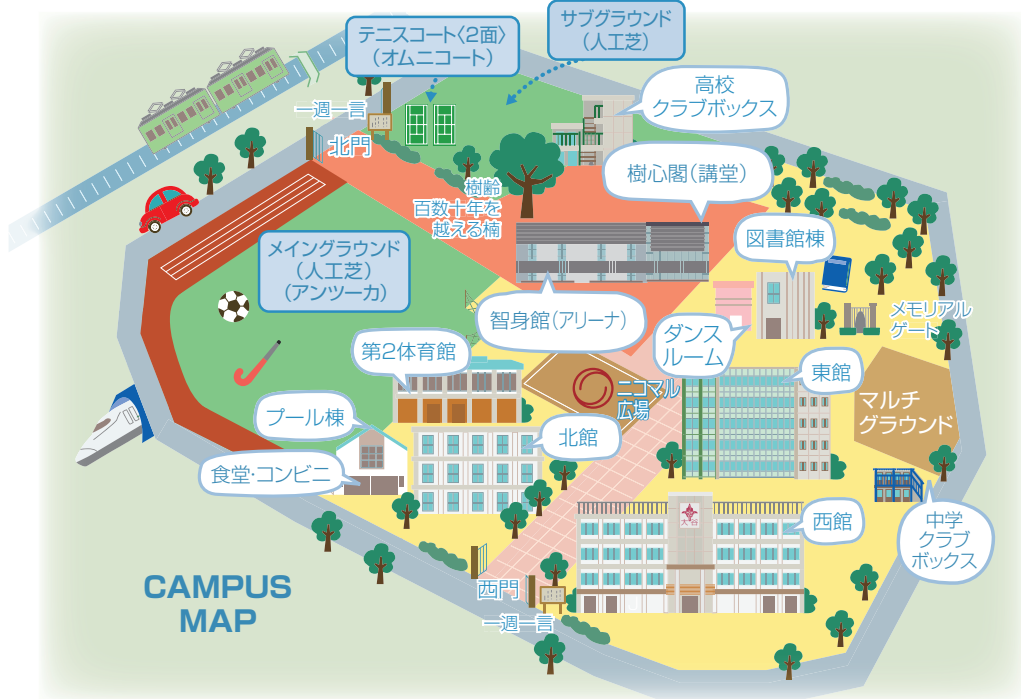
亀岡野球グラウンド

お借りした平地を開発した野球グラウンドです。内野には鹿児島黒土を敷き、ナイター設備や水はけ、ブルペンなど、さまざまなところを工夫しました。地域の方々に愛される施設を目指しています。

◎学校からスクールバスで約45分
亀岡駅から京阪京都交通バス(40系統)で約20分(国道佐伯バス下車)



新しい時代に対応する男女共通性のある仕様です。男女ともにブレザーとし、男子のシャツもポロシャツからカッターシャツに変更しました。女子は現行のキュロットのほかにスラックスも選択できます。また、男女共通オプションのカーディガンやチェック柄のスラックスなどがあります。



I 型(男子)制服	II 型(女子)制服	III 型(男女共通) アイテムオプション購入品
<p>全員が購入するもの(全て1点以上の購入必須)</p> <p>ブレザー</p> <p>I 型 冬スラックス (紺無地)</p> <p>I 型 長袖シャツ (赤ライン)</p> <p>エンジネクタイ (ワンタッチ)</p>	<p>全員が購入するもの(全て1点以上の購入必須)</p> <p>ブレザー</p> <p>II 型 冬キュロットスカート (赤チェック)</p> <p>I 型 冬スラックス (紺無地)</p> <p>II 型 長袖シャツ (赤ライン)</p> <p>エンジリボン</p>	<p>ニットベスト</p> <p>カーディガン</p> <p>ホワイト</p> <p>ホワイト</p> <p>ネイビー</p> <p>グレー</p> <p>ネイビー</p> <p>グレー</p> <p>I 型 夏スラックス (紺無地)</p>
<p>オプション購入品</p> <p>II 型 長袖ニットシャツ (ピンクストライプ)</p> <p>I 型 半袖シャツ (赤ライン)</p> <p>I 型 手袖ニットシャツ (ピンクストライプ)</p> <p>エンジネクタイ (ワンタッチ)</p>	<p>オプション購入品</p> <p>II 型 長袖ニットシャツ (ピンクストライプ)</p> <p>II 型 半袖シャツ (赤ライン)</p> <p>II 型 半袖ニットシャツ (ピンクストライプ)</p> <p>II 型 夏キュロットスカート (赤チェック)</p>	



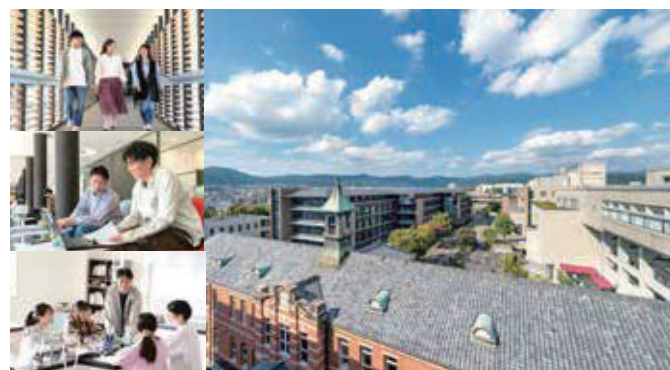
人間ってなんだ？

社会はどうあるべきか。
 自分はそうありたいか。
 人間を見つめ、人間について考える。



大谷大学には、開学以来120年以上受け継がれている学びの土台「人間学」があります。

大谷大学ブランディングサイト



自分らしい未来をひらく 4学部9学科24コースの学び

文学部	社会学部	教育学部	国際学部
真宗学科 / 仏教学科 / 哲学科 / 歴史学科 / 文学科	現代社会学科 / コミュニティデザイン学科	教育学科 (初等教育コース・幼児教育コース)	国際文化学科

■ 指定校制推薦入学制度(2023年度)

大谷大学で学ぶことに強い意欲をもつ者を対象に、指定校制推薦入学枠を設けています。
 推薦枠: 文学部18名・社会学部9名・教育学部6名・国際学部4名
 *別途協定による枠があります。

■ 大谷大学との高大連携プログラムを実施

大谷高校と大谷大学は、協定に基づき、相互の人的・知的資源を活用し、教育活動の相互活性化を目的に積極的な連携を行っています。

2023年度高大連携プログラム(実績)

人間教育プログラム

大谷大学に入学を希望する大谷高校生を対象に、事前課題の取り組み及び大谷大学教員による講義等の受講をとおして、「わかるようになった」という成長の自覚をもつことを、さらには、大学入学後も主体的に学修し続けることのできる、継続的学修への志向(自己完成への志向)を身につけた人間を育成することをねらいとしています。

- 1年次: 大谷大学教員による講義の受講、学部学科説明会
- 2年次: 大谷大学教員による講義の受講、学部学科説明会
- 3年次: 大谷大学教員による講義の受講、卒業生との懇談、オープンキャンパス参加など

その他大谷大学による出張講義

大谷高校が実施する班活動形式の授業を中心としたプログラムで、大谷大学の教員を中心とした出張講義も行います。

◎ 真宗大谷派学校連合会加盟校(幼稚園除く)

真宗大谷学園(京都)/大谷大学・大谷高等学校・大谷中学校(福岡)/九州大谷短期大学

光華女子学園(京都)/京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部・京都光華高等学校・京都光華中学校・光華小学校

大谷学園 (大阪)/大阪大谷大学・大谷高等学校・東大谷高等学校・大谷中学校

同朋学園 (愛知)/同朋大学・名古屋音楽大学・名古屋造形大学・同朋高等学校

尾張学園 (愛知)/名古屋大谷高等学校・豊田大谷高等学校

函館大谷学園(北海道)/函館大谷短期大学・函館大谷高等学校

帯広大谷学園(北海道)/帯広大谷短期大学・帯広大谷高等学校

権内大谷学園(北海道)/権内大谷高等学校

望洋大谷学園(北海道)/北海道大谷室蘭高等学校

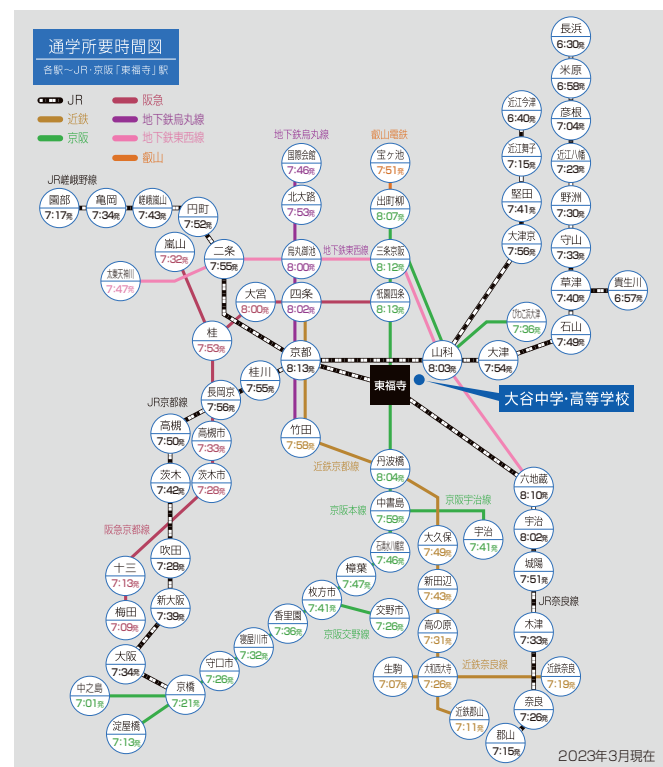
高松学園 (長野)/飯田短期大学・飯田女子高等学校・伊那高等学校

北陸大谷学園(石川)/小松大谷高等学校

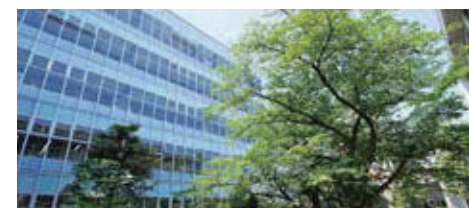
愛知真和学園(愛知)/愛知西成高等学校・大成高等学校・大成中学校

岩尾昭学園(大分)/昭和学園高等学校

詳細は大学HPでご確認ください。(https://www.otani.ac.jp/)



JR・京阪「東福寺」駅より徒歩5分
 京阪「七条」駅より徒歩10分
 JR・近鉄・地下鉄「京都」駅より徒歩18分
 京都市バス(202,207,208,58,88系統)「今熊野」バス停より徒歩3分



【学びをみちびく】



学習支援センター 進路指導部長 社会科 梶 喬一 教諭

多角的な取り組みでサポート。

進路指導部は、社会情勢や本校の受験実績を踏まえ、校内外の関係部署と連携をとりながら、生徒と教員の活動を支えていくことを目標としています。大谷中学校では学力推移調査を実施し、高校でも継続して同じ指標で学力を追跡できるようにしています。また、2コース計4種類の学びの場を提供する中で、進路選択の多様性を担保するさまざまな提案を行っています。一方、進学、就職先との情報交換を密に行い、高大連携の取り組みの充実にも力を注いでいます。模擬試験のラインナップの再検討やデータ分析に基づく進路指導はもちろん、予備校のトップレベル講師を校内予備校「A(アイ)ゼミ」に招く取り組みも実践中です。さらに、頻繁に個別の大学・入試説明会を開催し、私立、国公立の50近い大学の協力を得て学部学科説明会を校内開催するなど、進路選択に資するイベントの充実も進めています。

大学の合格状況 ※過年度生を含みます。

【国公立大学の合格実績】

国公立大学 88名

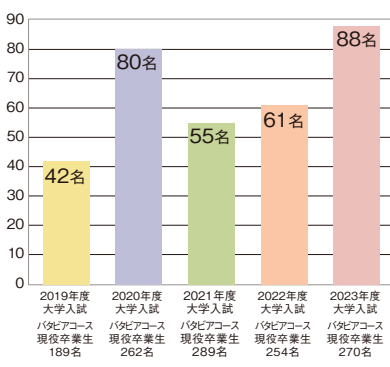


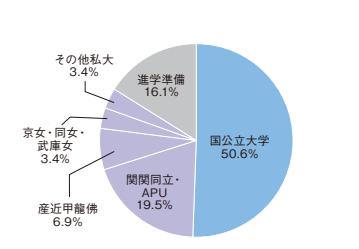
Table listing university names and the number of students who passed, categorized by faculty (Faculty of Letters, Faculty of Science, etc.).

【大学とその合格者数】 ※上記の合格者数を含む

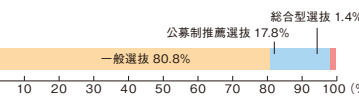
Table listing various universities and the number of students who passed, including national/public, private, and women's universities.

2023年3月卒業生 現役進路状況

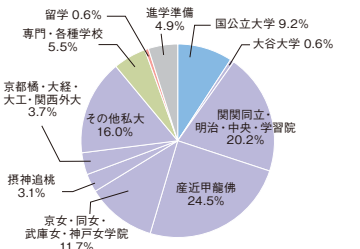
■バタビアコース・マスタークラス/卒業生86名



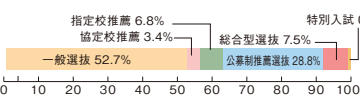
【四年制大学進学者における受験区分】



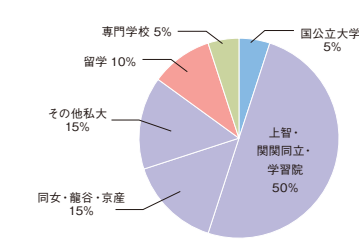
■バタビアコース・コアクラス/卒業生158名



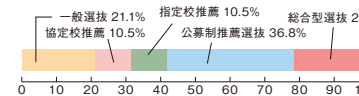
【四年制大学進学者における受験区分】



■バタビアコース・グローバルクラス/卒業生20名



【四年制大学進学者における受験区分】



大谷体験テスト(谷験テスト) ※無料

■小学6年生対象

Table for the Otani Experience Test I (October 21st), showing time slots and subject types (K-type and T-type).

【申し込み期限】

谷験テストI/2023年10月19日(木) 正午【WEB申込】

谷験テストII/2023年12月 1日(金) 正午【WEB申込】

【申し込み方法】

- ① 本校WEBページ(www.otani.ed.jp)にアクセスしてください。
② はじめての方はユーザー登録をお願いします。
③ ユーザー登録が完了している方は、メールアドレス/パスワードを入力してください。
④ 申込み必要事項を入力し、申込みを完了してください。
⑤ メールページから、受験票を印刷してお持ちください。

★谷験テストI・II両方の受験が可能です。

テスト結果に応じてA~Fの判定を行い、約1週間後に結果を郵送します。このテストを受験して有利に働くことはあっても不利になることはありません。

昨年度谷験テスト 判定ごとの本番入試合格率

Table showing the pass rates for the entrance exams based on the test results (A, B, C, D) for Master Jr and Core Jr students.

昨年度谷験テスト 総点と判定

Table showing the total scores and pass rates for the entrance exams in 2022, categorized by test type (K-type and T-type).

谷験の総点と評価

Table showing the evaluation ranges for the total scores of the Otani Experience Test I.

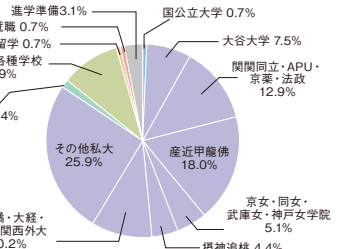
※☆は全給生候補、◇は半給生候補を表します。

谷験の総点と評価

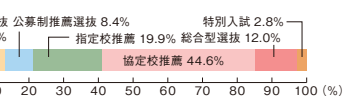
Table showing the evaluation ranges for the total scores of the Otani Experience Test II.

2023年3月卒業生 現役進路状況(大谷中学出身生89名分)

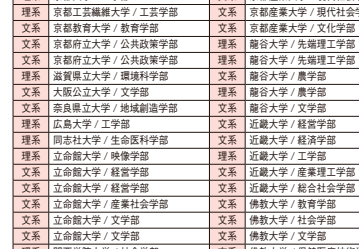
■インテグラルコース/卒業生231名



【四年制大学進学者における受験区分】



■バタビアコース・マスタークラス/卒業生86名



【四年制大学進学者における受験区分】

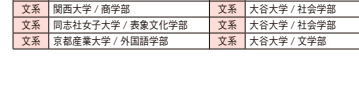


Table listing the career paths of graduates from various departments of Otani University, including Faculty of Letters, Faculty of Science, etc.

入試について

■ 2024年度入学試験日・受験型・試験内容・出願・合格発表について

日程	試験日	受験型	試験内容	出願 (WEB出願)	合格発表 (WEB掲載)																				
A日程	1月13日(土)	AS	出願に先立ち、事前に書類を提出し、出願資格を取得する必要があります。 書類(★)・作文(50分)・個人面接(約10分)の総合判定。 ★AS入試希望表明書・志望理由書、活動報告書および5-6年生の通知表のコピー	12/4(月) 0:00~ 1/10(水) 23:59	1/15(月) 9:30																				
		A3	国語・算数(各50分 各150点)、選択科目★(1~2科目選択、各35分 各100点) 2科目受験の場合、高得点の科目を採用、計400点 ★選択科目は社会、理科、英語																						
		A2(午後)	国語・算数(各50分 150点)、計300点																						
B日程	1月14日(日)	B2	国語・算数(各50分 150点)、計300点	www.otani.ed.jp																					
		BT	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>選性検査(国語 50分 100点)</th> <th>選性検査(算数 50分 100点)</th> <th>選性検査(理科 50分 100点)</th> <th>面接 10分程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> I~IIIのいずれかを選択				選性検査(国語 50分 100点)	選性検査(算数 50分 100点)	選性検査(理科 50分 100点)	面接 10分程度	I	○	○	×	×	II	○	○	○	×	III	○	○	○	○
			選性検査(国語 50分 100点)			選性検査(算数 50分 100点)	選性検査(理科 50分 100点)	面接 10分程度																	
I	○	○	×	×																					
II	○	○	○	×																					
III	○	○	○	○																					
C2	国語・算数(各50分 150点)、計300点																								
C日程	1月17日(水)	C2	国語・算数(各50分 150点)、計300点	12/4(月) 0:00~ 1/16(火) 16:00	1/18(木) 9:30																				

○試験区分によって、国語と算数の作問担当者は、A3-A2-B2-C2とも同じレベルの問題の作問を心がけていますが、して言えばやさしい順に、難易度の違いはあります。 A3-A2-B2-C2という設定になります。

■ 受験型と合格判定について

○受験型【専願・両願・複数回・単願】

	対象となる出願パターン	内容
専願受験	AS	本校で学ぶことに強い意欲を持ち、合格すれば入学する意志のある方の受験
両願受験	AS+A2, AS+B2, A3+A2, A3+B2の出願パターン	・左記のいずれかの受験パターンで出願した場合、両方の入試で得点優遇 ・同時出願で受験料は1回分
複数回受験	1回目をいずれかの受験型で単願受験したあとのA2, B2, BT, C2の受験	・単願受験の2回目以降の受験 ・2回目以降の入試で得点優遇
単願受験	A3, A2, B2, BT, C2のそれぞれの受験型単独で1回目受験	得点優遇はありません

*両願受験の得点優遇は受験をした時点で成立します。(欠席すれば得点優遇はなくなります)
*WEB出願の選択時に「複数回受験」はありません。複数回受験は、単願受験を2つ以上受験する場合の2回目以降の受験に適用される制度です。
WEB出願では、該当する受験内容を単願受験で選択するようにしてください。

○受験料

20,000円(原則、受験型ごと) 手数料は別に必要です
両願受験の場合、受験料は1回分に減額されます。

○得点優遇

両願受験では両方、複数回受験では2回目以降の入試に対して約5%(A3なら約25点/A2-B2-C2なら約20点)の得点優遇があります。(ASは若干の優遇)

○資格による加点

以下の資格に応じて加点をして判定します。受験当日に、必ず認定証のコピーを志願票と一緒に提出してください。 *複数提出可。

加資格による	3科入試			2科入試			認定書のコピーは、複数回受験の場合、初回受験時に提出してください。(2回目以降の受験の判定にも有効です。)
	20点	10点	5点	15点	8点	5点	
	英検 準2	3級	4級	準2	3級	4級	
	漢検 3級	4級	5級	3級	4級	5級	
	数検 4級	5級	6級	4級	5級	6級	

○合格判定

- 各クラスの合格基準点によって、下の(A)~(ウ)の判定をします。
(ア)マスターJrクラス合格 (イ)コアJrクラス合格 (ウ)不合格
- マスターJrクラスの合格者は、入学手続きの時点で、コアJrクラス入学を選択することができます。
- 各科目の合格最低点は設けていません。合計得点で合格判定をします。

■ AS入試とBT入試について

○AS入試

事前審査と当日の試験の2段階で可否を決定します。事前審査では、本人のこれまでのさまざまな取り組みと、これからの目標や入学したいという意志などを、提出していただく書類と自己アピールを通して判断させていただきます。小学校の5-6年生での通知票と、スポーツ活動や習い事、また、それらの賞や資格といった実績との総合判定で審査し、出願資格を与えます。当日の試験では、面接と作文の試験を実施します。受験までの流れは、①ASエントリー面接(本人・保護者への趣旨説明)と書類審査に必要なエントリー書類のお渡し ②AS書類提出 ③AS自己アピール ④AS審査判定(結果通知(審査通過者には出願時に必要なIDを郵送)) ⑤出願です。詳しくは、2024年度大谷中学校生徒募集要項でご確認ください。

○BT入試

BT入試は、「適性検査型」入試で、本校では「適性検査型国語」と「適性検査型算数」の2つを課しています。出題傾向としては、洛北高校附属中学校さんと西京高校附属中学校さんに近い問題を出願しています。受験をお考えの方はぜひ、谷験1のTタイプを受けていただき、大谷中学のBT入試の傾向に慣れていただければと思います。なお、入試では「適性検査型理科・社会」、及び「個人面接」の受験も選択可能です。

■ WEB出願

2023年度大谷中学校生徒募集要項をご覧ください。

■ 2023年度入試合格基準点

試験区分	A3	A2	B2	BT	C2	
配点合計	400	300	300	100%	300	
両願・複数回数	全額給費	320 80%	255 85%	250 83%	75%	252 84%
	半額給費	300 75%	240 80%	235 78%	70%	237 79%
	マスター	270 68%	220 73%	213 71%	55%	216 72%
単願	全額給費	340 85%	270 90%	265 88%	80%	267 89%
	半額給費	320 80%	255 85%	250 83%	75%	252 84%
	マスター	290 73%	235 78%	228 76%	60%	231 77%
	コア	210 53%	175 58%	168 56%	50%	171 57%

* BTは得点率で合格判定をおこなっています。

■ 2023年度志願者・受験者・合格者数

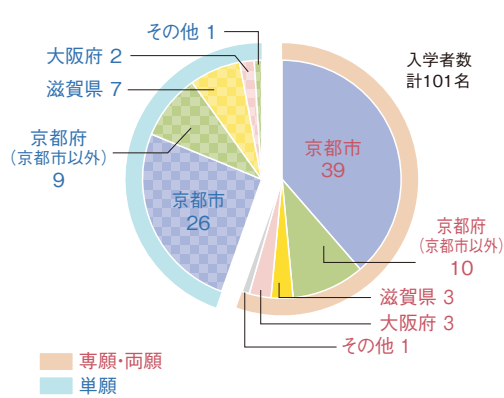
日程		志願者		受験者		合格者			
		男	計	男	計	マスター Jr		コア Jr	
		女		女		男	計	男	計
A日程 1/14(土)	AS	7	10	7	10	1	1	6	9
		3		3		—		3	
	A3	43	66	43	66	17	28	16	24
	23		23		11		8		
A2	57	92	53	90	26	42	17	36	
	35		37		16		19		
B日程 1/15(日)	B2	93	146	93	143	38	64	42	61
		53		50		26	19	19	
	BT	6	13	6	13	6	13	—	—
	7		7		7		—		
C日程 1/18(水)	C2	43	71	31	50	13	25	13	17
		28		19		13		4	
合	計	247	398	233	372	101	174	94	147
		151		139		73		53	

(志願者、受験者、合格者の数字は、延べ人数です。)

■ 2023年度入学者数

入学者		クラス別入学者			
		マスター Jr		コア Jr	
男	計	男	計	男	計
女		女		女	
62	101	25	43	37	58
39		18		21	

■ 2023年度入学者地域別(専願・両願/単願)



学費・特待生制度等

■ 納付金について

初年度納付金	入学手続き料	授業料	教育費	施設整備費	保護者会・後援会・生徒会費	合計
	140,000円	552,000円	120,000円	60,000円	36,000円	908,000円

その他、雑費は、雑費A(教材・合宿・アプリ代など)として7~13万円、雑費B(学力推移調査代など)として1~2万円、合計8~15万円を3期に分けて徴収します。ただし、雑費は年度末に精算し、使用していない額は返金いたします。
*上記の他に、制服・体育用服装代(8万円程度)、ノートパソコン代(8万円程度)の費用が必要です。
*校費第2期分と第3期分は、ご指定の口座から自動振替とさせていただきます。
第2期 256,000円 納入期日 9月6日 / 第3期 192,000円 納入期日 1月6日

■ 特待生制度(清沢教育給費生)

本校の教育理念に共感し、学費の面で迷っている受験生のために開かれた制度です。授業料の全額(年額52,000円)または半額(年額276,000円)と教育費の全額(年額120,000円)の給費を原則中学3年間受けられます。特待生は中学入試の得点によって決まります。高校進学の際の成績や入試得点等によって、高校3年間も特待生制度が継続されます。また、成績や入試得点等によって、高校進学時に新たに特待生の資格を得られます。

■ 兄弟姉妹在籍の特典

本校(大谷中学校)入学時に兄弟姉妹が同時に在籍している場合、所定の手続きを経て兄弟の授業料(年額52,000円)より半額が免除される制度があります(同一家族より2名以上が在籍する場合、最年少生徒を除く生徒)。現在中高で44組の在籍があります。
*ただし、兄弟が大谷高等学校在籍の場合、兄弟の授業料(年額52,000円)より国の就学支援金を差し引いた金額の半額が免除されます。

■ 奨学金制度(本校独自のもの)

廣小路奨学金貸与奨学生(貸与)月額 30,000円

■ 寄付金について

本校では入学前の寄付金制度はありません。入学後、寄付金を募集するときは、すべて任意での取り扱いとなります。